

令和4年度在宅療養ワーキンググループ 意見交換の流れ

【事前アンケート内容】

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、医療や介護の現場でコロナ患者を支えるために様々な取組が新たなになされているところである。今後更なる高齢化が進展する社会において、これらの取組の活用可能性について伺う。
 - (1) 在宅専門診療との連携
 - (2) オンライン診療の活用
 - (3) その他医療DXや新たな関係づくり等、コロナ禍で進んだ取組
 - (4) 今後の在宅療養体制の充実に当たり、医療DXの視点からどのような取組を進めるべきか
- 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、既存の在宅療養患者を支える体制において後退してしまった取組等はあるか。
- 3 以上を踏まえて、今後増加する在宅療養患者を支える24時間の診療体制、地域包括ケアシステムの構築に対して、上記の取組等はどのように活かすことができると考えるか。

【意見交換内容】「今後の在宅療養体制について」

- 1 事前アンケートの回答を踏まえて、地域のネットワーク構築という観点から、今後の在宅療養体制の構築をどのように進めていくべきと考えるか（25～30分） ⇒ 各参加者から御発言
- 2 各参加者からの御発言を踏まえて、意見の深掘りや参加者間の質問等の意見交換（10～15分）
⇒ 1での発言やアンケート結果からフリーに意見交換
- 3 まとめ（5分）
最後に、討議の中で挙げられた御意見について、印象に残ったものなどを座長及び東京都医師会理事から講評いたします。

終了後の共有について

討議終了後は、事務局にて意見交換内容をまとめ、当日のワーキンググループ参加者及び各関係団体等宛て、情報共有いたします。